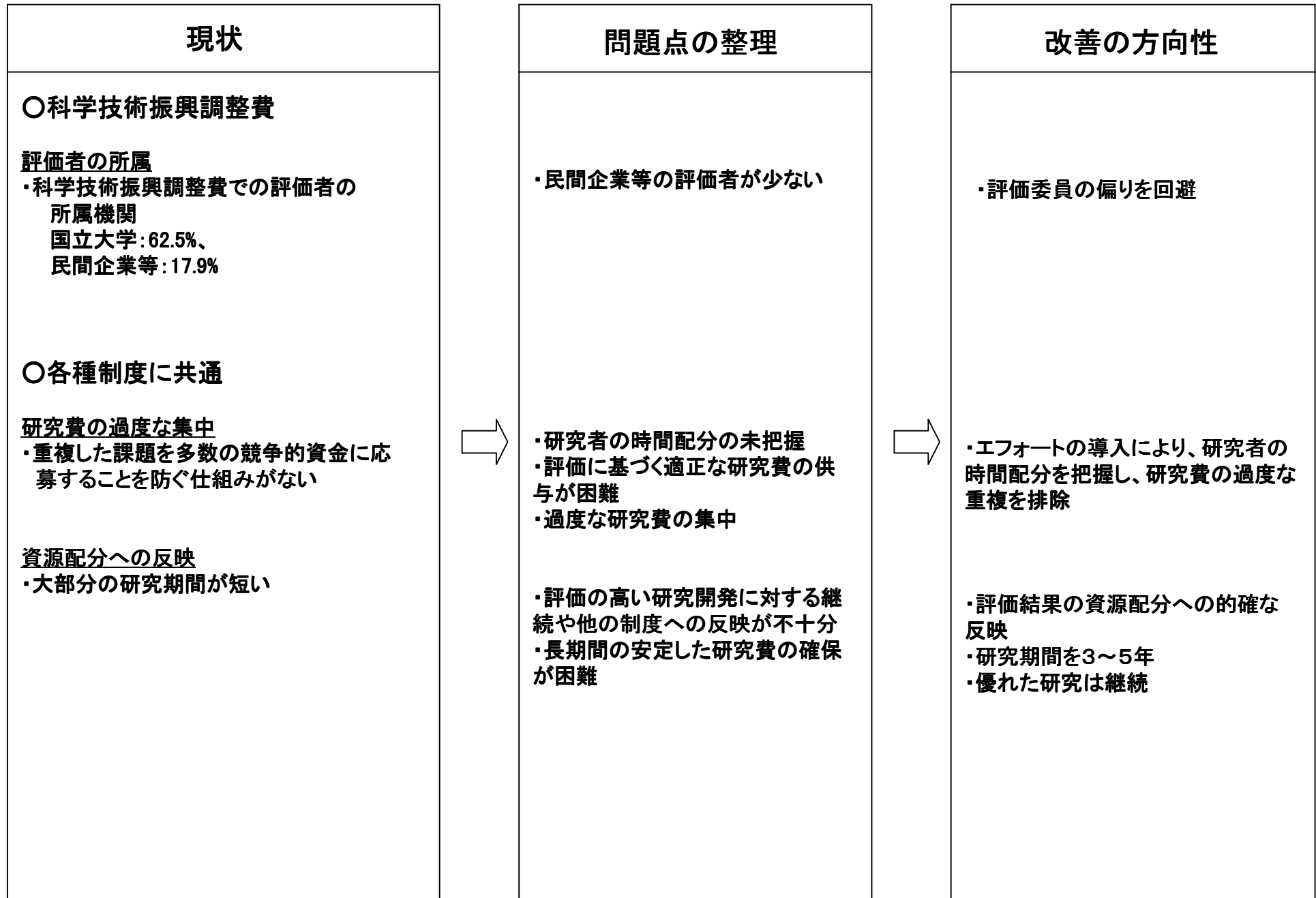


現状	問題点の整理	改善の方向性
<p><b>○科学研究費補助金</b></p> <p><u>不採択理由の開示</u>                      ・特別推進研究の研究種目(プログラム)について不採択理由を開示                      ・基盤研究等の研究種目は希望者に書面審査の順位を開示</p> <p><u>評価部署の事務職員</u>                      ・文部省 8人                      ・学術振興会 10人</p> <p><u>研究経験人材の評価業務への従事</u>                      ・文部省 学術調査官(併任) 7名                      ・学術振興会学術参与等(非常勤)約20名</p> <p><u>評価委員の年齢</u>                      ・書面審査委員の平均年齢 53.1歳                      50歳以下の評価委員は28%                      ・合議審査委員の平均年齢 55.6歳                      50歳以下の評価委員は12.9%</p> <p><u>書面審査のレフリーの評価申請書数</u>                      ・事前評価のレフリー1人あたり、平均120件を評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基盤研究等は不採択理由を開示していない</li> <li>・評価者の過重負担</li> <li>・評価業務に関わるスタッフの過重負担</li>   <li>・事務体制が不十分</li>   <li>・評価業務における科学的専門性の欠如</li>   <li>・評価委員の年齢が高い</li>   <li>・評価者の過重負担</li> <li>・評価時間に制限があり、的確な評価が困難</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不採択理由を開示し、公正で透明な評価を構築</li> <li>・評価業務に関わるスタッフの増員</li>   <li>・評価業務に関わるスタッフの増員</li>   <li>・研究経験人材の評価業務への従事を促進</li> <li>・研究者のキャリア・パスの開拓</li>   <li>・評価委員に中堅や若手研究者をさらに登用</li>   <li>・評価者育成、評価者プールの構築</li> <li>・評価費の充実、評価者への研修等</li> </ul>

## 競争的資金による研究開発課題の評価の現状と問題点(案)(2/3)



# 競争的資金による研究開発課題の評価の現状と問題点(案)(3/3)

## 現状

### ○競争的資金の現状

〔日本〕	金額	申請件数(新規)	採択件数 (採択率)
科学研究費補助金	1419億円	78,882件	16,932件 (21.5%)
科学技術振興調整費	324億円	541件	93件 (17.2%)
戦略的基礎研究推進事業	300億円	602件	42件 (7%)

(参考)

〔米国〕	金額	申請件数(新規)	採択件数 (採択率)
NIH	17,806億円 (1999年度)	約2.2万件 (1999年度)	約7,300件 (33.2%)
NSF	4,201億円 (2000年度)	約2.6万件 (1999年度)	約8,300件 (31.9%)

## 問題点の整理

- ・応募件数が多い
- ・過度な評価業務
- ・採択率が低い
- ・よい研究課題が不採択となる可能性がある

## 改善の方向性

- ・評価業務に関わるスタッフの増員
- ・評価業務の効率化、評価者プールの拡充
- ・競争的資金の増額、適正な評価を可能とする制度改革